ISHIKAWA PREFECTURE
石川県

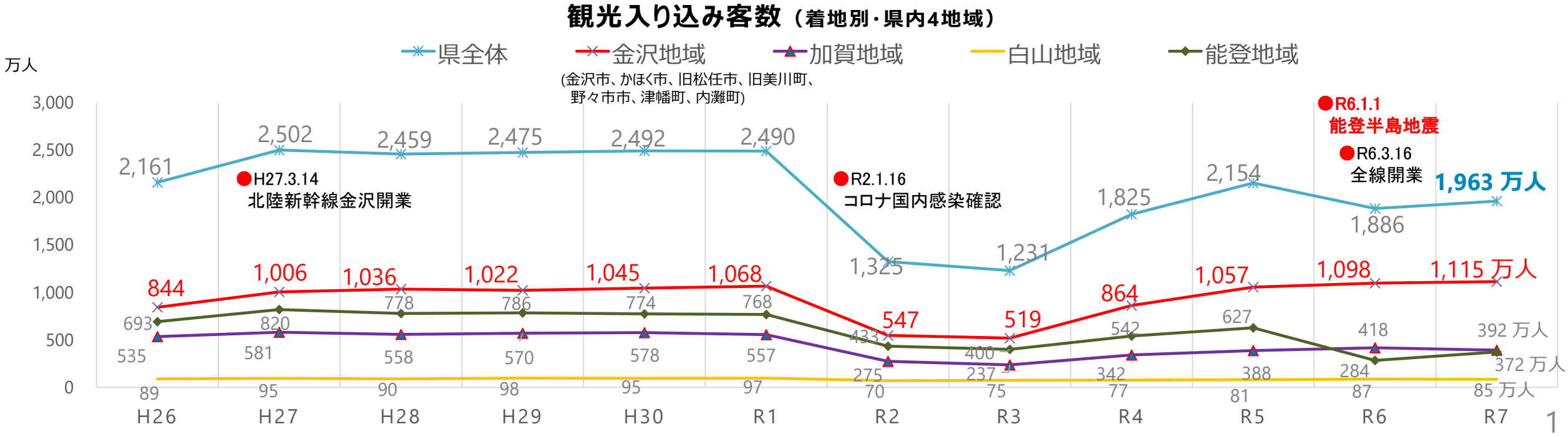
テーマ１

石川県への誘客拡大と広域連携

石川県への誘客拡大と広域連携

本県の観光入り込み客数の推移

- ○ 平成27年の北陸新幹線金沢開業後、石川県の観光入り込み客数は、**2,500万人の水準を維持していたが、コロナ禍で減少**。回復傾向にあったところに、**能登半島地震が発生**
- ○ 令和７年は、県全体では、対前年比**4%増**の**1,963万人**
- ○ **金沢地域**は、コロナ禍前（Ｒ１）と比べ増加しており、**北陸新幹線の開業効果が持続**
- ○ 能登地域は、回復傾向にあるものの、地震前（R5）の約６割程度



石川県への誘客拡大と広域連携

1　三大都市圏からの誘客拡大

①北陸三県やJRとの連携（広域連携）

○ 食や自然、文化など共通の魅力を有する**北陸三県と、ＪＲが連携した情報発信、誘客キャンペーン等を実施**

・三県共通の魅力をテーマにした誘客
「北陸」のブランディング強化を目的に、首都圏の主要駅等で、三県共通の魅力をテーマにPR（R7:**地酒**、R8:**発酵**）

・Japanese Beauty Hokuriku キャンペーン（１２～３月）
駅・車内のポスターやwebを活用した宣伝、旅行商品の充実等



地酒をテーマとした三県PRイベント



キャンペーンポスター

②修学旅行誘致

○ 北陸新幹線金沢開業を契機に、**首都圏を中心とした三大都市圏からの修学旅行を積極的に誘致**
→R7実績　126校（R6比＋45校）

・中学校や旅行会社への個別訪問

・「震災学習プログラム」等の現地研修会
学校関係者：R8.8.17～19、旅行会社：R9.1～2月頃予定

・北陸三県連携による、旅行会社と地元事業者との商談会(R8.12月、東京都内)


現地研修会

石川県への誘客拡大と広域連携

③関西・中京圏からの誘客

○ 北陸新幹線の県内全線開業後、乗り換え回数や運賃の増加等の影響により、
関西・中京圏からの入り込みが伸び悩み
○ **関西・中京圏から本県を訪れる旅行者は、車で来県される割合が多い**

マイカー誘客の促進（NEXCO中日本と連携）

・宿泊商品券付きのお得なドライブプランによる誘客
→高速道路が乗り放題となる周遊パスと、県内の対象宿泊施設で利用できる1万円分の「宿泊商品券」がセットになったプランに、R8から県独自に3000円のプレミアムを上乗せ

・車で行けるスポットやお得なドライブプランをPRするWEB広告の配信



関西・中京圏向けのメディアPR会議

・関西・中京圏のテレビや雑誌、WEB等のメディアを対象に旬の観光素材をPRし、番組や記事等での発信を働きかけ（大阪・名古屋で開催）





➡関西・中京圏からの誘客促進を図る

石川県への誘客拡大と広域連携

2　魅力ある受け地づくり等による県内の周遊促進

①コンテンツ造成支援による新たな魅力づくり

○ 石川の多彩な文化資源を最大限活用し、本県ならでは魅力向上・誘客拡大のため、令和５年に、総額１００億円の**「いしかわ文化観光推進ファンド」**を創設
→県５０億円、北國銀行５０億円

運用益を活用

いしかわ文化観光コンテンツ造成支援事業

「文化の担い手」と「観光事業者」が連携して実施する、本県の文化資源を活用した、
高付加価値な文化観光コンテンツ造成の取組を支援
（２年間で最大1,000万円を補助、補助率2/3）

【認定件数】Ｒ５：１９件(※)、Ｒ６：１４件、Ｒ７：８件、Ｒ８：10件　※うち能登半島地震の影響で２件中止

【支援事例】

箔一（金沢）
本格的な金箔体験や箔製造の全工程を一度に見学できる工房見学ツアー


本格的な金箔体験

重蔵神社（輪島）
現存する最古の輪島塗を保有し、キリコ祭りの舞台の重蔵神社で、神職が輪島の文化を案内するツアー


神職による重蔵神社のガイド

無限庵（加賀）
県指定文化財の加賀藩家老屋敷「無限庵」で、山中塗の絵付体験や、茶懐石など伝統的食文化体験ツアー


無限庵での茶懐石体験

石川県への誘客拡大と広域連携

②観光素材の発掘・磨き上げ

○ 市町や観光団体が発掘した観光素材を**大手旅行会社に提案**し、**助言を得ることで**
さらなる磨き上げを図るため、「いしかわ旅行商品プロモーション会議」を開催（H26～）

【時　期】 年２回（４月・１０月）※大手旅行会社の主な商品造成スケジュールに合わせて開催
→R8開催日：4/22（ゆのくに天祥）、10/13(のと楽)
【参加者】 大手旅行会社、市町、観光団体等
【内　容】 観光プレゼン、旅行会社と市町・観光団体等との個別商談会、エクスカーション



<観光プレゼン>


<商談会>


<エクスカーション>

③「兼六園等の未来に向けたあるべき姿 検討委員会」の設置

※10/14（水）第1回検討委員会を開催。

○ 兼六園・金沢城公園を本県の誇りとして、次世代に継承していくことを目的に、**文化的価値を保全**しつつ、**更なる魅力向上に向けた取組等について議論**するため、検討委員会を設置

○ **取組等に必要となる財源**の確保を念頭に、県民と観光客で入場料を分ける**「二重価格」の導入の是非や有効性も議論**

石川県への誘客拡大と広域連携

④「旅して応援、能登」による誘客

○『今行ける能登』をPRフレーズとして取り組んできたが、宿泊・観光施設の再開を踏まえ、
『旅して応援、能登』へリニューアルし、観光を通じて能登の復興を後押し

＜団体旅行応援キャンペーン＞

支援対象	旅行会社が手配する、能登を周遊する団体旅行（8人以上）
助成条件	能登12市町の施設等を周遊する旅行商品の造成
助　成　額	バス・ジャンボタクシー（1台あたり）：6万円/日 ※実費相当額の1/2上限 （金沢市以外に宿泊する場合は3万円/泊を上乗せ） ツアー参加者に、能登の飲食店や土産物店などで使用できる電子クーポンを4,000円／日付与

旅して応援、能登
団体旅行応援キャンペーン

（第１期）
R8.3月～７月までの５か月間で**約2,500本のツアー**が催行され、**約7万3千人が能登を訪れる**

(第２期)
R8.9月～R9.3月まで実施（年末年始は除く）

宿泊者の地域別割合
- **能登　５割**
- **金沢　３割**
- **加賀　２割**